

2月21日 児童朝会での講話

先週は、校歌の「板橋第六 楽しき我が家」とは、楽しいときもつらいときも、励まし合い、助け合って、共に明るく生き抜いていく姿だとお話しました。今週は、校歌の歌詞の2番である「いざやわが友 力を合わせ」を通してお話をします。

「いざや」とは、人を誘ったり、自分が何かを始めたりするときにかける言葉です。ですから、「いざやわが友 力を合わせ」とは、「さあ、みんな。共に力を合わせようじゃないか。」と言っているのです。

「力を合わせる」とは、「協力する」ということです。5年生が榛名移動教室で学んだのが、「協力」でした。紹介します。

●「榛名山で疲れている人がいたら、『あともう少しだよ。』とか『がんばれ』とか、いっぱい協力をしました。私は、協力とは助け合い、励まし合う、それが協力だと思います。」5年1組 Aさん

●「自分が榛名に行って、榛名移動教室のテーマである『協力』とは何かが分かりました。それは、『力を合わせて、信頼し合うこと』だと思いました。あくまでも、自分で考えた意見のようなものですが、テーマである『協力』を自分の言葉で見付け出せてよかったです。」5年2組 Bくん

二人とも協力することについて、素晴らしい意見ですね。

「力を合わせる」ことについて、もう一つだけお話しします。それは、同じような性格の人ばかりが力を合わせるよりも、違う性格の人たちが力を合わせたほうが、より大きな力を発揮することができるということです。野球でも、全員が4番バッターより、それぞれの特性をもったバッターが並んだほうが強いようです。板橋第六小学校の私たちも、それぞれが豊かな個性をもっていて、一つの目標に向かって力を合わせているから素晴らしいのです。

昨日、区民ドッジボール大会があり、5年生の代表が試合に参加しました。みんなで力を合わせて、がんばりました。選手の皆さんは、その場で立ってください。皆さん、大きな拍手を送りましょう。

※本校の校歌は、山口猪祐先生が甚深の思いを込めて作詞されたものです。

1月17日から始めた私の話は、在籍児童に対する現校長としての願いを語ったものであり、校歌の解説ではありません。ご理解の程をどうぞよろしくお願いいたします。